

TOPICS

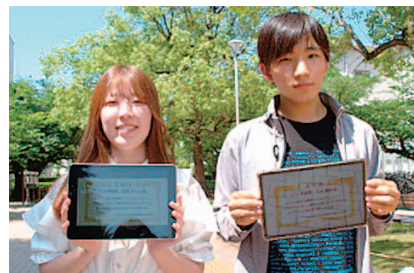
創造工学部学生2名が 西日本横断サイバーセキュリティ・グランプリで準優勝

6/10



サイバーセキュリティに興味のある学生などを対象としたセキュリティイベント「西日本横断サイバーセキュリティ・グランプリ」が、大阪など西日本エリアの5会場とオンラインで総務省四国通信局により開催されました。創造工学部情報システム・セキュリティコース2年の濱渦ゆりのさんと情報通信コース3年の三井颯剛さんは徳島会場に参加し、セ

キュリティクイズに取り組んだ他、セキュリティの難題をPCを駆使してチームで解くCTF (Capture The Flag) コンテストにおいて対面会場準優勝しました (全会場10位)。創造工学部情報システム・セキュリティコースでは専門技術を学び、近年社会で増加する情報セキュリティ問題の解決に取り組む、意欲ある学生を求めています。



農学部学生サークルASUS (エーサス) が 香川大学三木サテライトオフィスにて「夏の科学体験教室」を開催

6/25



農学部の公認ボランティアサークルASUS (エーサス) は、小学生対象の「夏の科学体験教室」をサンサン館みき (香川大学三木サテライトオフィス) にて開催しました。当日は、午前と午後の2回開催し、午前の部では23名、午後の部では19名の参加がありました。教室では、「空気砲」、「万華鏡」そして「風船ホバークラフト」の制作を行いました。いずれの実験においても、その原理

や方法について、スライドやテキストを用いてわかりやすく説明しました。参加した小学生からは、「空気砲で的を倒すのが楽しかった」、「万華鏡でみられる光景がとても綺麗だった」、「ホバークラフトが空気で浮いて滑るのがすごかった」といったたくさんの感想をいただきました。次の科学



体験教室は、2023年12月末頃を予定しています。

令和5年度 海外学生留学事業報告会を実施

7/3



医学部臨床講義棟1階講義室において、「海外学生留学事業報告会」を実施しました。今春に「医学科研究」および「医学実習II」期間中にプルネイのプルネイ・ダルサラーム大学において実習を行った医学科4年生の2名と、イギリスのニューカッスル大学において臨床実習を行った医学科6年生4名が、実習内容のほか、得られた成果や体験を報告しました。

来年度以降に、同事業で留学を希望する学生を中心に、教職員をあわせて38名が参加し、留学前に学んでおくべき事項や、こういった手法で学んだのかといった質問をはじめ、現地での交流や食事、費用に関することなど、活発な質疑応答も行われ、とても有意義な報告会となりました。また、併せて来年の留学に関する説明会も実施されました。



カダイジン出演者募集中

(香川大学生・教員・職員・卒業生対象)

香川大学のまだ知られていない面白い人を取り上げる企画で、「立候補」と「推薦」で募集しております。是非応募ください!

学内の方はこちらから応募できます (選考あり)

<https://forms.office.com/r/CMd3jyTnzW>

↓学外の方はこちらのメールから応募できます (選考あり)

kouhougakuseistaff-h@kagawa-u.ac.jp

(メール記載事項)

- ・連絡先
- ・氏名
- ・アピールポイント (写真や動画などを含む)

今までのカダイジンの紹介はこちら



あなたのご意見をお聞かせください!

「KADAIGEST」では、本誌に関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から抽選で2名様に香川大学オリジナルバッグをプレゼントします。

香川大学に関する話題や発信してほしいこと、ご意見など何でもお寄せください。

こちらのQRコードからアンケートにアクセスできます
※令和5年10月31日締切



KADAIGEST 2023 7



① 目的地に向けて ② 話題のヤドン公園へ ③ 峠を真剣に登ります ④ まれにレースも、(岡山県井原市のシンクロクロス大会にて) ⑤ 綾川にあるオシャレなカフェでキメてみました
⑥ 海沿いの峠を登った先には絶景があります ⑦ 東かがわ市のオープンカフェで休憩中

香川大学

自転車競技サークル

クロワジエール

私たちクロワジエールは、自転車の魅力を最大限に満喫することをモットーに、自由にワイワイと活動しているサークルです!部員は現在11名で、ほとんどが大学生から自転車を始めた部員ばかりです。香川県内外のグルメや絶景を求めてサイクリングを楽しんだり、時にはレースやサイクリングイベントに参加したり、移動手段だけじゃない自転車の楽しみ方をみんなで楽しんでいます!

私は幼少期から自転車と共に育ってきたので、自転車の楽しみ方はほとんど知っていたつもりでしたが、このサークルに入って出会う人から新たな楽しみ方、発見を知り、まだまだ自分の知らない魅力があるような気がして、自転車のことをもっと知りたい!!と思うようになりました。

このように自転車の楽しみ方は人それぞれです。ふらっとカフェに寄ってみたり、うどん屋巡りをしたり、絶景を求めて山を登ったり、自分の脚でたどり着いた達成感は格別です。乗らずとも、カスタマイズを楽しむことだって楽しみ方のひとつです。

自転車に乗れば経験、運動神経の有無を問わないのが自転車なので、大学で何か新しいことに挑戦してみたい!何か趣味が欲しい!という人も大歓迎です!自転車の貸し出しもしているので、気軽に遊びに来てください!

活動場所 ・道路の上
活動時間 ・土日祝のどこか
時間は目的地によって変わります
部員数 ・11名(1~4年生)
HP・SNS/
Instagram: 香川大学クロワジエール (krcr_croisiere)
Twitter: 香川大学自転車サークル
クロワジエール (@krcr_croisiere)
連絡方法 (連絡先)/ SNS のDM



創造工学部4年
岩山 裕紀
岡山県立倉敷南
高等学校

G7 香川・高松都市大臣会合の一環として 齊藤国土交通大臣へ学生からの提言書を手交



提言書手交式の記念撮影の様子です。齊藤国土交通相からは「提言を日本の考え方として提案していきたい。提言の精神を胸にたたき込み、会合に臨みたい」とのコメントを頂きました。



全員で記念撮影をしている様子。



サミットでの事例紹介に向けてオブザーバーへのインタビューをしました。和気あいあいと楽しくそれぞれの国の様子を伺いました。



齊藤国土交通相に提言書を直接手渡しました。



持続可能な都市とは何か、答えがない中それぞれが考え意見を出し合いました。

2023年7月7日から9日にかけて『持続可能な都市の発展に向けた協働』というテーマのもと、日本で初めてのG7都市大臣会合が高松で開催されました。私たちは議長国日本の学生代表として、都市大臣会合に先駆け6月3日に開催された「学生サミットin香川・高松」に参加しました。サミット本番では、学生が調査したG7各国のまちづくり事例の紹介や持続可能な都市の実現についてG7各国出身のオブザーバーを交えて議論しました。学生サミットを通じて承認された提言書は、7月7日に齊藤鉄夫国土交通大臣に手交されました。

提言書の検討では学生メンバーだけでなく、コーディネーターの経済学部西成典久教授やG7各国出身のオブザーバーとともに、持続可能な都市とはどんな都市か、実現には何が必要なのかを議論しました。多様なメンバーだからこそ、それぞれに「持続可能な都市のあり方」についての考えがあり、まとめる上で意見の衝突もありました。しかし何度も議論を重ねることで、1人では思いつかなかったアイデアが生まれ、みな

の思いが詰まった提言書になりました。提言書では「にぎわいのあるまちなかをつくり活力のある都市の実現」「1人1人が誇りを持ち次世代に愛される都市の実現」などの4つのまちづくりを提言しました。

このような取り組みを通じて、私たちの印象に残ったことを紹介します。まずは苦労した点です。G7各国のまちづくり事例の紹介では、調査段階で参考資料がその国の言語で記載されていたり、正確な地理データがなかったりと、各々の学生が発表資料の作成に苦戦しました。そのような様子を見ていたからこそ、学生サミット本番の発表の様子を見たときには心から感激しました。一方で気づきを得た点もありました。G7各国と日本の都市の様子を見比べると大きな違いがありました。多くの国で市街地への自動車乗り入れを制限し、歩行者空間や公共交通の充実により、賑わいのあるまちを実現しています。これらの政策が実施できるのは、市民が自分たちの地域に関心を持ち、発展させようという積極的な行動があるためだと気づきました。

学生サミットを通じて、持続可能な都市の実現に最も大切なことは、都市に住む1人1人の「当事者意識」です。特に都市の未来を担う私たち若者が、地域の課題に関心を持ち、多様な人とともに、よりよい未来のために考え行動することが不可欠です。学生サミットや都市大臣会合が「これからのまちのあり方」を考えるきっかけとなり、高松から世界へ持続可能な都市に向けた協働が広がっていけば幸いです。最後に西成先生やオブザーバーのみなさん、国や香川県の関係者のみなさまの助けがあり、学生サミットをやり遂げることができました。ここに感謝申し上げます。



(左) 創発科学研究科2年 日野田 圭祐
岡山県立津山高等学校 出身

(右) 法学部3年 萱島 琳音
福岡県立小倉西高等学校 出身



提言書手交式では、齊藤国土交通相が、私たちの思いの詰まった提言をしっかりと受け取って下さいました。



提言書手交式後の取材の様子です。提言に込めた思いや手交式の様子は、報道を通じて世界へ発信されました。



『学生サミットin香川・高松』提言書は、来場者の拍手によって承認され香川・高松の地から世界へと発信されました。



『持続可能な都市の実現を考えるシンポジウム』に参加し、学生サミットに向けて持続可能な都市について学びました。